

男女共同参画月間記念行事  
**ふくいきらめき  
 フェスティバル2014**

開催日:6月22日(日)

会場:鯖江市嚮陽会館 副会場:鯖江公民館、西山動物園

[テーマ] とき  
いまこの瞬間をきらめいて～輝くあなたにきつとなれる!～



題字  
 福井県知事 西川一誠  
**第37号**  
 発行者  
 (公財)ふくい女性財団

★ワークショップ  
**仕事でも家庭でも役立つ  
 感情マネジメント術**



～怒りの感情をコントロールする～という魅力的なサブタイトルのワークショップには、約50名の方が参加されました。怒り感情のキーワード“6秒待つ”のコツや、人によって「こうあるべき」の境界線が大きく異なることを事例を交えて体感することができました。どんな場面でもすぐに活用できる素晴らしいワークショップでした。(企画委員)

★講座  
**歴史に輝く女性たち**

イケメン講師の斬新な女子論、リーダー論。卑弥呼・AKB48・朝ドラなど新旧おりまぜての映像。会場一杯約80名の皆さんには、あっという間の講演だったと思います。日本に、女性にエールをたくさんいただきました。(企画委員)



★電気で  
 あそぼう



★めがねストラップ作り  
 久しぶりの工作で楽しく参加  
 できました。(40代・女性)



★ラテアートバリスタ体験

なかなかできない貴重な経験ができてうれしかったです。(10代・女性)



★心もカラダもリフレッシュ!!

本当に素晴らしい話術と体操であっという間に終わってしまいました。内部から血の巡りがよくなりました。(60代・女性)



★ムラタセイサク君  
 実演



★粘土で  
 レッサーパンダを作ろう!

西山公園の飼育員さんに間近で説明してもらい、その後、粘土でレッサーパンダを作りました。同じ物を作るのに出来上がりは十人十色。作品を手にも最高の笑顔でした。(企画委員)

★簡単♪時短フレンチ教室

自然の食材を活かす料理が大変良いと思いました。シェフの作り方を見た後で実際に作ったので分かりやすかったです。(40代・女性)



★家事サポートPR



宅配サービスを実演しました。

**【大会を振り返って ふくいきらめきフェスティバル実行委員会】**

多くの方々に参加していただき、成功裡に収めることができました。記念講演、ワークショップ等のイベントも大盛況でした。大変うれしく思っています。振り返ると、企画委員のみなさんと企画案、駐車場の安全策に苦慮、またテレビPR出演では緊張したことなど思い出します。今はただ感謝の気持ちで一杯です。実行委員、企画委員はじめ、ご尽力いただいた皆様のお蔭です。重ねてお礼申し上げます。(ふくいきらめきフェスティバル企画委員長)

★文化講座作品展



ふくいきらめきフェスティバル 2014

「専業主婦から社長へ」～女性として、母として、経営者として～

講師：諏訪 貴子氏 (ダイヤ精機株式会社 代表取締役社長)



経営者、母親、妻と色々な役をやって大変ではないか?と質問されますが、めっちゃめちゃ楽しい!!楽しみながら仕事も家事もやっているという諏訪貴子氏。どのように、現在に至っているのかをユーモアを交えて講演していただきました。

会社を宣伝したい

全国に会社の名前を知ってもらうために、「経営大賞などの賞をとり会社の名前を売り込み、賞金を獲得」という目標を立て、社員と一丸となって取り組んだ。社員と取り組んだ賞では大賞を逃したが、実績を評価され、日経ウーマン2013で大賞を受賞。テレビ、新聞、雑誌関係に取り上げられ、新しい業者の方々と取引を開始するきっかけとなった。

人生には無駄がない

進路はすべて強引な父のやり方で、工学部に入社し、就職は女性初の技術職として部品メーカーに入社。男性と肩を並べ2年間広く浅く学んだ。結婚して退職、長男を出産し母となった。先代である父の跡取りへの期待は孫に移り、憧れだった女性らしい職業、披露宴の司会者となった。バブルが終わった頃、父の依頼で経営困難であったダイヤ精機に経理として入社。不採算部門のリストラ提案をするが自分自身がリストラされる経験を経験した。そして突然の父の死。ほぼ専業主婦状態で社長となった。会社員としての2年間は経営者としての知識や経験が得られ、司会者の経験は今の講演などに活かされている。このような経験から人生には無駄がないと感じている。

母とって、妻とって

地域では長男の友達のお母さん方と子育てを協力し合い、育児と仕事の両立ができた。仕事をすることで、一緒に居る時間が少なくなってしまうが、子どもが悩んでいる時にはとことん向き合う。自分と父との関係からも、愛情は長さではなく深さだと考えている。

母であり妻であり続けるために、家庭に仕事を持ち込まない努力をして、通勤の際などにスイッチを切り替える。子どもや夫には気持ちや愛情は言葉で表している。

経営者として

社長就任当時は、決断は全て自分。仕事は家に持ち込まないと決めた。それがストレスになり孤独感に襲われたが、趣味のクラシックバレエがそれを解消してくれた。仕事の時とは全く違う環境・人・動き・考え方が、仕事を忘れてリフレッシュできる。『人は幸でも不幸でもない。考え次第である』というシエイクスピアの考えを知り、考え方が変わった。自分が思う失敗とは『ダイヤ精機をなくしてしまふこと』であり、その他の失敗などは成長の過程であると思えるようになった。

経営は女性に向いている。なぜなら社員教育は子育て、経理は家計と、家庭も一つの会社。会社経営はもう一つの家庭を切り盛りするようなものである。

女性特有のコミュニケーション能力は笑顔。少しの勇気と行動が自分を変えるきっかけになるとエールを送ってくださいました。



日吉太鼓 演奏者のみなさん

講演の感想

- ・働く一人の女性として勇気づけられました。良い仕事をするには、興味を持つということに同感です。(30代・女性)
- ・女性男性関係なく、人間としてイキイキと生きていくための大切なことをたくさん教えていただきました。人間一生チャレンジだという勇気をもらいました。(50代・男性)
- ・大変な苦労もあり今に至っておられるようですが、色々なアイデアを出しながら進めていく強さを学びました。(60代・女性)

お知らせ

きらめきフェスティバル 2015

日程 平成 27年 6月 20日 (土)

場所 福井県生活学習館

皆様のご参加をよろしく申し上げます。

公益財団法人 ふくい女性財団

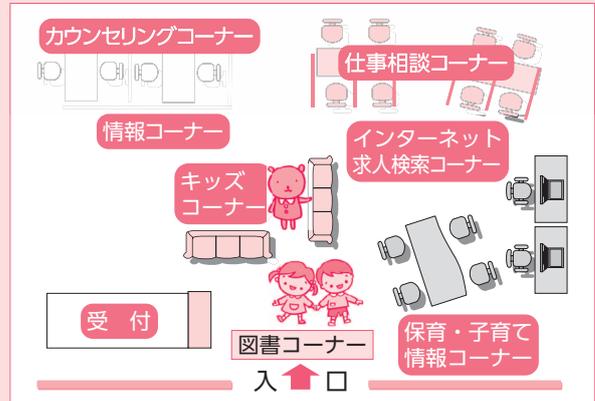
役員紹介

(※新しく就任された方)

理事長	松田千鶴子	前 JA 福井県女性組織協議会長
副理事長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
//	齋藤 啓子	さばえ男女共同参画ネットワーク副会長
理事	坪田 達雄	(公財) ふくい女性財団事務局長
//	森近 悦治	福井県政策幹
//	*出蔵加津代	福井県生活学習館長
//	今富 廣子	前福井県生活学習館長
//	松田 玲子	前国際ゾンタ福井ゾンタクラブ会長
//	高橋ハルミ	福井県みらい子育てネット 母親クラブ連絡協議会長
//	高嶋みどり	前つるが男女共同参画ネットワーク会長
//	土肥 正彦	北陸電力㈱福井支店総務部長
//	進藤久美子	㈱ネスティ専務取締役
//	加藤 晶子	ふくい女性ネットNEXT
//	羽田野慶子	福井大学教育地域科学部准教授
監事	三輪 隆三	前福泉信用組合専務理事
//	重久 博子	元(公財) ふくい女性財団副理事長
相談役	水上 幸衛	前(公財) ふくい女性財団理事長

ふくい女性活躍支援センターが

リニューアル!!



キャリアアップ相談に加えて、再就職、子育て、育休復帰を応援します!

- 働き方に応じた仕事探しをお手伝いします。
- 保育所探しや、仕事と子育ての両立、職場復帰時の子育ての悩みをお聴きします。
- 仕事に関する不安や悩みをお聴きします。
- 女性の就業に関係の深い機関が出張相談会を開きます。

●利用時間 ※秘密は厳守します。 ※予約がおすすめです。

再就職相談	火～日曜日 / 9:00～16:45	
子育てに関する相談	火・木・金曜日 / 9:00～16:45	
キャリア相談	火～木・土曜日 / 10:00～16:45 金曜日 / 13:00～20:00	
出張就職相談会	ハローワーク	第4木曜日 / 10:00～16:00(予約制)
	ひとり親相談	第2・4木曜日 / 10:00～16:00
	福祉人材センター	第2・4木曜日 / 13:00～16:00

●お問い合わせ・お申込み先

ふくい女性活躍支援センター  
生活学習館 (ユー・アイふくい) 2階  
電話: 0776-41-4244  
e-mail: lady-go-fukui@pref.fukui.lg.jp  
チャイルドルーム併設 (要予約 0776-41-4254)

今後の講座予定

★キャリアアップ応援講座

『話し合いが変わる! ファシリテーション術』

コース1: 平成26年10月23日(木)、30日(木)  
19:00～20:30

コース2: 平成26年11月3日(月・祝)  
10:00～16:00

【講師】銀座コーチングスクール金沢校 講師  
坂本 祐央子 氏

★働き女子の交流会

平成26年11月13日(木)

★ハッピーキャリアセミナー

平成26年11月29日(土)  
13:30～15:30

【講師】ブラマンテ株式会社 代表取締役  
田島 弓子 氏

★男性の料理教室

平成27年3月頃

今後も多くの講座を予定しています。

ふくい女性財団

検索 してください!

福井県男女共同参画社会づくり  
功労者知事表彰

【個人】

- 北潟 レイ 氏 (鯖江市)
- 小林 三紀子 氏 (敦賀市)
- 齋藤 道子 氏 (坂井市)
- 鈴木 佐智江 氏 (勝山市)



【団体】

若狭女性ネットワーク

# いま輝いています

## 福井県保育士会

保育士は子どもの自ら伸びゆく力や保護者が自ら行う子育てを『支える』専門職です。「子ども達の真の幸福を守るために」保母は手をつなぎ、たちあがるうー」という呼びかけに賛同した人たちの手によって、昭和三十一年に全国保育士会が結成されました。

およそ半世紀の歩みを経て、現在十八万人を超える全国の保育士・保育関係者が会員となつています。

「全国保育士会倫理綱領」において、保育士が最も依拠すべき行動原理として「子どもの最善の利益の尊重」を表記しています。保育士は子どもにとっての最善の利益を第一に考え、保育をしています。

今年度、福井県保育士会には二百八十八施設、三〇〇四名の保育関係者が会員登録しており、県内各市町の委員を中心として次の事業に取り組んでいます。

- 一、研修会の開催
- ・各種実技講座「学ぼう！みがこう！高めよう！」講演会
- 二、アンケート調査「保育士の協働性について」
- 三、食育推進事業「福井の食文化と保育所の給食について」の調査・考察
- 四、機関誌《すかんぼ》の発行
- 五、《保育者ハンドブック》改訂版の発行

私たち保育関係者は、これからも専門職としての誇りと責任をもち、保育の質の向上、自らのスキルアップを目指していきます。次年度、四月からの子ども・子育て支援新制度に向けての動きのなかにあっても保育の根幹を大切に、保育所としての保育内容を地域社会に発信し続け、子どものための制度の充実に向けた提言等の活動を進めていきます。



県保育士会研修会「学ぼう！みがこう！高めよう！」

## 加盟団体活動紹介

## 勝山男女共同参画ネットワーク



勝山市制60周年記念 市民企画事業  
「今こそ手をつなごう 輝く男女の歌物語」

勝山市男女共同ネットワークは、男女共同参画社会の推進と地域の発展に寄与することを目的として、かつやまのぞみフェスタ、や講座の開催、ポスターコンクール事業などを実施しています。今年度は、市内15団体と5名ののぞみサポーター（個人会員）で構成されています。

今年7月には、勝山市制60周年を記念し、劇団ドラゴン・ファミリーさんのご協力をいただき、ミュージカルによる意識啓発事業を実施しました。地域の課題解決を目指し活躍する女性や、勝山市の歴史・文化など様々なメッセージをPR・発信しました。

また、勝山市の豊かな自然や、『互いに生き方認め合い』、『ともに楽しく語り合い』などの歌詞を盛り込んだ男女共同参画新イメージソング「ひとがかがやき」を制作しました。このイメージソングを多くの市民の皆さんに歌っていただくことで、男女がともに輝く勝山につながることを期待します。

今後も性別に捉われず、男女が共に思いやり、助け合う社会づくりを目指して活動していきます。

## 土木女子・ドボジョ

## 西田建設株式会社 加納利唯さんを訪ねて



リフォーム番組の影響で建築に興味を持ち、福井高専に入学。当時は、土木工学中心に学んでいました。就職の際に建築の仕事を選び入社5年目。施工管理の業務に携わり、建築現場で男性と肩を並べ活躍されている加納さん。作業中の現場でお話を聞かせていただきました。

### ★やりがいや苦勞を感じるとき

建物は、生活・社会の基盤であり、なくてはならないもの。建物を通して役に立っていることが直接目で見え、やりがいや達成感を味わうことができます。

現場で経験が浅い上に、女性ということで、提案や指示を聞き入れてもらえず、辛いと感じることもありました。しかし、大変だったことも次の現場などに活きており、全部自分の身になっていると感じています。

### ★建設・土木女子(ドボジョ)の活躍について

建設・土木系に女性が全くいないのは良くないと思います。逆に女性だけでなく仕事が変わらない。現在、女性は全体の1割もない。もう少し増えて欲しい。『目指せ、半々！』

女性のお客様が要望を言いやすかったり、図面の内容をお客様がイメージできるようにお伝えしたりすることが建築・土木系女子が活躍できる場面です。また女性目線も取り入れることで、職場や建築物に幅が広がると思います。

### ★仕事と家庭の両立について

女性としてどう生きるかを考えると、仕事と家庭は両立していきたい。大いに建築に携わりつつ、自分の生活を充実させていきたいと考えています。

同じ現場の男性からは「やる気は一番」と太鼓判を押されている加納さん。

男性中心の職場で重い物を持つなどはどうしても男性に頼らなければならぬことも多いけれど、周りの方が先に気にかけてくれますと、笑顔で答えてくれました。



発行者 (公財) ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1  
 福井県生活学習館(ユニー・アイふくい)2階  
 TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260  
 E-mail: fujho-zai@iaa.itkeeper.ne.jp  
 URL: http://www.f-jhosei.or.jp